

(1) 実施機関名：

気象庁

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）火山観測の強化とデータ収集・蓄積・共有の推進

（英文）Enhancement of the volcano observation and promotion of data collection, accumulation and sharing.

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

ア. 観測基盤の整備

(4) その他関連する建議の項目：

5 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究

(5) 大規模火山噴火

(6) 高リスク小規模火山噴火

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

エ. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開

(5) 令和5年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

常時観測火山（50火山）について、全国4か所の火山監視・警報センターにおいて、地震計、空振計、GNSS、監視カメラ等により監視観測を継続した。

また、全国の火山について、GNSS繰り返し観測、熱観測、火山ガス観測、無人航空機による可視・熱赤外観測等の調査観測を計画的に実施するとともに、火山活動に異常が認められた場合には、緊急観測を実施して火山活動の詳細の把握に努めた。

これらの観測成果は、噴火警報等の火山防災情報の発表や火山活動解説資料の作成に活用するとともに、JVVDN等で観測データを公表した。

(6) 本課題の5か年の到達目標：

関係機関の協力の下、常時観測火山（50火山）の連続的な監視観測を継続する。それ以外の活火山も含め、連続観測及び機動観測で可能な限りデータを蓄積し、これらの成果は、噴火警報等の火山防災情報発表や火山活動解説資料等の作成に活用するとともに、火山月報（カタログ編）やJVVDN等で公表する。

(7) 本課題の5か年計画の概要：

常時観測火山（50火山）について、全国4か所の火山監視・警報センターにおいて、地震計、空振計、GNSS、監視カメラ等により、連続的な監視観測を行うほか、火山観測施設の計画的な更新を継続する。それ以外の活火山も含め、全国4か所の火山監視・警報センターの火山機動観測班が、計画的に実施する地震観測、GNSS繰り返し観測、熱観測、火山ガス観測等の機動観測により得られたデータを解析し、蓄積する。また、火山活動に異常が認められた場合には、火山機動観測班が緊急的に実施する機動観測によりデータを収集・解析し、蓄積する。

各種観測で得られた成果は、噴火警報等の火山防災情報や火山活動解説資料等の防災資料のほか、

気象庁HPの火山月報（カタログ編）、防災科学技術研究所のJVVDN等を通じて広く公表する。

(8) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

気象庁地震火山部火山監視・警報センター,札幌管区気象台火山監視・警報センター,仙台管区気象台火山監視・警報センター,福岡管区気象台火山監視・警報センター
他機関との共同研究の有無：無

(9) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：気象庁地震火山部管理課 地震調査連絡係長
電話：03-6758-3900(内線：5114)
e-mail：jmajishin_kanrika@met.kishou.go.jp
URL：http://www.jma.go.jp

(10) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：北川 賢哉
所属：気象庁地震火山部火山監視課